

**給食費の完全無償化は
何時実現するのか**

Q 市長の最大の選挙公約である給食費の完全無償化について、今年1月より一部無償化が実現した。その具体的内容は、

A 学校給食費の一部無償化については、令和5年1月から、小学6年生、中学3年生および第3子以降の学校給食費を無償化しています。令和5年4月現在における無償化の児童生徒数は、小学生が723名、中学生が593名、全体で1316名となり、全児童生徒数の約32%となります。また、無償化に係る免除見込額は、年間で約7700万円となります。



たかぎ ひろし 議員

意見 給食費の完全無償化は、市民の皆様方からの要望が圧倒的に多い。市長においては、就任3年目にあたる令和6年度から完全実施すべきであり、市長の早急な決断を強く望む。

香取市における産婦人科の誘致は

Q 市役所臨への産婦人科誘致の経緯と現状は。

A 開設予定者である医療法人社団みずたに会へ確認したところ、建築費用を抑えるため、建物の規模の縮小や、活用可能な補助金の検討を行っていたことから、設計に時間を要しているとのこと。



産婦人科施設建設予定地

意向や設計の進捗などを十分に確認しながら、可能な限りの支援をまいります。

Q 今後における市としての対応は。また、市長の選挙公約である県立佐原病院への誘致の対応は。

A 市としても、産婦人科施設の開院を待ち望んでおり、引き続きみずたに会の

意見 市役所臨への産婦人科誘致は、周囲の環境等から判断しても不適当である。この土地は一層のこと、不足している市役所の駐車場用地として、産婦人科誘致の用地は別の場所にすることを提案し、市長の早急な決断を強く望む。

**ふるさと納税の拡充により
更なる財源の確保を**

Q 香取市のふるさと納税の寄附額、寄附件数は前年度と比較してどれくらい増えているのか。

A 令和4年度のふるさと納税の受入額は5億5964万2500円であり、令和3年度の3億7528万3500円に対し、金額で1億8435万9000円、割合として約49%の増となっております。件数については、令和4年度は4万4408件、令和3年度の2万8204件に対し、件数で1万6204件、割合として約57%の増となっております。



まえだ まさゆき 議員

を受け取れる定期便の取扱いを開始しました。また、ポータルサイトにおいて、検索ワードの最適化に取組んだほか、サイト内の写真加工にも注力したところです。

Q 寄附額の現在の使用用途は。

A 寄附者が寄附する際にお聞きしているところであり、寄附者の意向を参考に充て先の事業を決定しています。なお、令和3年度の主な活用事業としては、子育て支援の充実として子ども医療費の助成事業に5600万円、地域医療の充実として病院運営事業に2500万円などがあります。

Q 市長のふるさと納税政策の目標は。

A 寄附受入額の向上があります。具体的な数値目標としては、令和9年度までに寄附受入額10億円を目指すものです。

意見 更なる財源の確保のため香取市の豊かな資源を活用し、先進事例を研究してふるさと

と納税政策の拡充を進めていただきたい。

**事業承継と新規創業による
市内商工業の更なる発展を**

Q 商工業者の事業承継や商工業の発展等の課題について、本市はどのように考え、対策を立てているのでしょうか。

A 新たな事業者の育成とともに、既存の事業を継続させていくことが重要であると考えます。市においては、創業や事業承継に意欲のある方々を積極的に支援しているほか、金融機関との共同による低利な融資の実施などにより、事業継続のための経営支援に取り組んでおります。

Q 新規創業と事業承継をマッチングさせるのが有効な手段だが、どのように考えるか。

A 新規創業や事業承継の動向を商工業関係団体とも連携しながら把握に努め、創業や承継のタイミングを逸さないよう支援してまいりたいと考えております。

意見 地域内外での創業や企業誘致および事業承継の後押し等、危機的状況にある市内商工業に対しスピード感を持ち対応していただきたい。

Q 寄附額、寄附件数が増加している要因は。



ふるさと納税サイト「さとふる」

A 返礼品開拓および返礼品の充実が挙げられます。令和4年度の取り組みとして、一度の申込みで複数回の返礼品